

2、3年生皆さんは、11名の新しい先生方を迎えての始業式から、1年生の皆さんは入学式から本日までの本校での学校生活を振り返ってみていかがでしたか？コロナ禍ではありましたが、様々な工夫や対策をしながら、教育活動進め本日終業式を迎えることを大変うれしく思います。精一杯頑張ったと思える人、もう少し頑張れたかなと思う人、少しサボったかなと思う人など自分なりの振り返りや評価をし、先日から担任の先生との面談や通知票での学習成績を見て欲しいと思います。

さて、始業式では、あらためて本校には、この地域において広く農業や土木、測量、食品、畜産等の担い手としての期待があり、地域の願いに応えるべき点を話しました。この期待に応えるためには、マナトシを始めとした教材を使いながら、基礎学力を高め学年で共通した資格取得を目指す、その基盤の元に専門学習を深めていくこと。さらに、課外活動の分野でも関連する農業クラブや家庭クラブ、生徒会や部活動など皆さんの活躍の場がたくさん準備されているので、積極的に活動を展開していくことを話しました。また、入学式では1年生の皆さんに学校というところについて「学びあうところ」、「小さな失敗や挫折を経験するところ」、「お互いを認め合うところ」の話をしました。

1学期を振り返ってみますと、日常生活、日々の授業・実習、部活動、すべての面においてみなさんは大変良く頑張ったと思います。たくさんありますが、農業クラブ活動の中で家畜審査競技県大会での個人の部最優秀、意見発表県大会でも2部門での最優秀、プロジェクト発表県大会では全部門最優秀、まさしく農業のリーディングスクールにふさわしい活躍であったと思います。また、部活動においてもそれぞれの部がそれぞれの目標に向かって、ひたむきに努力した成果が出ています。みんなが一人のために、一人がみんなのために、全力でプレーし、全力で応援する姿に出雲農林高校の魂を、耕魂の精神を感じることができました。特にウエイト部とカヌー部では、インターハイに出場し全国一へも決して夢ではない期待があります。もちろん生徒会や家庭クラブ、各種委員会でも活発な活動が、ホームページ等で報告されています。このように1学期のみなさんの頑張りをしていると、今まさに出雲農林高校の時代が来ているという気がしています

こうした活躍や結果としての表れは、何が基本となっているのか普段の皆さんの生活から見えることは、「継続」です。毎日の繰り返しから生まれているあきらめない気持ち、粘り強く頑張ろうとする意識は、継続の賜と考えます。継続の実施は、本校には至る所にありますが、その一つに動物科学科の農場当番があります。牛舎やふれあい動物広場に毎日朝夕必ず集合し、給餌や搾乳、糞の処理、散歩など役割り分担に従って黙々と行っています。二つ目に寮の学習時間があります。現在、女子13名、男子5名の生徒が寮生活を送っています。生活時程に学習時間があり毎日必ず夜9時から10時まで勉強しています。ほとんどの人が部活動をしていますので、当然疲れていますしゆっくりしたい土曜日でも日曜日でも関係なくこの時間は、何かの勉強をしています。2つとも本当に素晴らしい時間だと思います。こうした毎日の頑張りに、知らず知らずと動物を見る目が養われたり、興味のある勉強が一層面白くなっていると思います。今日は、動物科学科と寮に関係する「継続」の話でしたが、他の学科にもまた、自宅から通学している人にも何かしらの「継続」の時間や内容があり、それに気づきそれを実行している人が、力を付け自分の人生を切り開いていくように思います。是非この「継続」を前向きに捉え、最初は小さなことからあるいは短い時間から始めてみましょう。何年後にはきっといい思いをすることになると確信しています。

明日から40日間の夏休みです。コロナへの予防は気を緩めることなく、それこそ継続しましょう。23日から東京オリンピック・パラリンピックが開催します。世界のアスリートが、最高のパフォーマンスを見せてくれるはずで、感動する場面には、惜しみない拍手を送りましょう。

以上で令和3年1学期終業式での訓話とします。